

「超上流工程における要求分析への科学的アプローチ」研究会

2016年度第4回勉強会のご案内

2017年1月15日

情報システム学会同上研究会発

1. 日時：2017年2月20日（月）午後2時～午後5時

2. 場所：株式会社プライド会議室

■場所

株式会社プライド

東京都千代田五番町12番地1

番町会館3F

TEL：03-3239-5431

FAX：03-3239-5432

■アクセス

<http://www.naska.co.jp/access/>

JR四ツ谷、JR市ヶ谷から共に徒歩5分

3階エレベータ前の株式会社インフォメーション・ディベロプメント社総合受付 左手奥「303会議室」です。

3. 発表

2016年度第4回研究会は、プロセス・モデリングとデータ・モデリングの交差点について理論的な観点から検討を加えます。また当研究会の2年間の活動の振り返りも合わせて行います。

講師：名古屋経済大学 経営学部教授 中西昌武（当研究会主査）

タイトル

「プロセス・モデリングとデータ・モデリングの交差点」

要求分析では、プロセス・モデリングとデータ・モデリングを相照らしながら進めるのが常道である。両者の関係については、古くはP. チェンがERモデルを提唱したころから議論され、その後もJ. マーチンや、フィンケルシュタインといった大家も正面から取り上げていたし、Object Role Modelingの創始者であるナイセやハルピンは、それを役割セットという形に昇華させている。両者が不可分の関係にあることは誰もが知っている。

だが、なぜそれが可能か？ という点については根源的な論究があるわけではなく、「こうすればうまくゆく」という経験的ノウハウの提示にとどまっているように見える。両者が確実に相互依存し、議論の果てに両者そろって仕様が固まるからには、必ずや両者の間に理論的関係があるはずである。OR (Operations research) 的に表現すれば、両者は「双対関係」にある。ではどのようにアプローチすれば理論的な解明が可能だろうか？

ここでは、両者の交差点に横たわる、こうした問題にメスを入れた議論を楽しみます。

参加費：無料

★研究会の後、有志により忘年会を兼ねた懇親会を催します（費用は実費）。

研究会の参加希望の方は以下のメールアドレスにメールをください。

nakanishi-m@nagoya-ku.ac.jp 中西昌武（名古屋経済大学）宛て

以上